

# 令和 5 年第 1 回鹿沼市教育委員会議事録

鹿沼市教育委員会



## 令和5年第1回鹿沼市教育委員会議事録

1 日 時 令和5年1月25日(水)  
午後2時04分 開会  
午後3時35分 閉会

2 場 所 鹿沼市民情報センター学習室

### 3 出席した委員

教 育 長	中 村 仁
委 員	倉 松 俊 弘
委 員	平 野 美 恵
委 員	宮 田 里 枝
委 員	伊 矢 野 洋 一

### 4 出席した事務局職員

教 育 次 長	高 橋 年 和
教 育 総 務 課 長	郷 昭 裕
学 校 教 育 課 長	大 貫 照 実
生涯学習課長兼自然体験交流センター所長	金 子 恵 美 子
文 化 課 長	渡 辺 靖
ス ポ ー ツ 振 興 課 長	仲 田 順 一
国 体 推 進 室 長	大 場 隆 光
学 校 給 食 共 同 調 理 場	秋 本 敏
図 書 館 長	大 貫 陽 子
川上澄生美術館事務長	向 田 和 子
学 校 教 育 課 管 理 主 事	大 貫 敏
書 記	田 仲 史 枝
書 記	山 本 敬 子

## 5 会議事項

日程第 1 議事録署名委員の指名

日程第 2 教育長の報告

日程第 3 報告事項について

(中村教育長)

令和5年1月25日(水)午後2時04分、令和5年第1回鹿沼市教育委員会の開会を宣した。

(中村教育長)

日程第1 議事録署名委員の指名について、本日の議事録署名委員に平野委員と宮田委員を指名した。

(中村教育長)

日程第2 教育長の報告を議題とする旨宣し、教育長から報告を行った。

(中村教育長)

次の事項について報告した。

- 1 12月・1月校長会について
- 2 令和4(2022)年度文部科学大臣優秀教職員表彰について
- 3 鹿沼市20祭2023について
- 4 まるごと博物館第8回企画展「学校誕生」開催結果の報告について
- 5 鹿沼市制75周年記念 第43回鹿沼さつきマラソン大会について
- 6 新型コロナウイルス感染状況と対策について

(伊矢野委員)

20祭には初めて出席したが、しっかり運営されていて落ち着いた式だったと述べた。市外中学校に進学した方の参加について質問した。

(生涯学習課長)

座席等は鹿沼市内中学校毎に区分けしているが、厳密ではない。中学校が異なっているにもかかわらず誘い合わせて一緒に出席している様子であると述べた。

(伊矢野委員)

開催案内は同じく送られていると思うが、市外学校に進学した方も一緒に20祭の実施に取り組んでほしいと述べた。

(中村教育長)

この件について他に質疑の有無を諮ったところ、質疑なく異議なしの発言があったので、引き続き日程第3 報告事項1 寄付受入についてを議題とする旨宣し、事務局の説明を求めた。

(学校教育課長)

〔説明要旨〕津田小学校に、現金10万円を寄付受入した旨を説明。

(中村教育長)

この件について質疑の有無を諮ったところ、質疑なく異議なしの発言があったので、引き続き日程第3 報告事項2 令和4年第4回（12月）鹿沼市議会定例会質問状況報告についてを議題とする旨宣し、事務局の説明を求めた。

（教育次長）

〔説明要旨〕令和4年第4回（12月）鹿沼市議会定例会質問状況について、質問の概要を説明。

（倉松委員）

不登校の児童・生徒のオンライン授業について、鹿沼市では出席扱いになるのか質問した。

（学校教育課長）

栃木県の指針に基づき、実態に応じて各学校長の判断により出席扱いとすることもであると述べた。

（倉松委員）

出席扱いとする条件等を整理し、検討してほしい。ZOOM等で児童・生徒間の交流を図る他市の事例もあるので、参考にして鹿沼市でも考えてほしいと述べた。いじめ問題で解消に至らなかった案件について質問した。

（学校教育課長）

「解消」と計上していない理由について説明した。

（倉松委員）

校内いじめ防止対策委員会が把握した事例の報告について質問した。

（学校教育課長）

毎月、各学校から件数を報告してもらい集約している。重大事態が発生した際は例月教育委員会へ報告すると述べた。

（倉松委員）

重大でなくとも例月教育委員会へ報告する様に述べた。日本語指導を行う派遣会社に係る費用について質問した。

（学校教育課長）

いじめ件数等については来月より報告する。日本語指導については年度途中だが至急対応が必要であったため、補正予算にて対応した。今後も必要となる費用であるため、令和5年度予算で要望していると述べた。

（平野委員）

部活動の地域移行は、全競技種目について県内では佐野市と矢板市でモデル

事業の実施をしているのか。また、鹿沼市で考えている対応について質問した。

(学校教育課長)

モデル事業実施状況についてはその通りである。鹿沼市の方針は今後詳細を詰めていく予定であると述べた。

(教育次長)

国の指針でも大幅な修正が続いており、鹿沼市独自の対応を考えるにも困難な状況である。細かな指針が見えてからの対応となるが、関係機関とは引き続き連携を図りながら対応を進めていくと述べた。

(宮田委員)

S N Sを活用したいじめ相談の取り組みについて、小学生でもL I N Eで相談可能ということか、また市で提供しているタブレットを相談に活用することも視野に入れているか質問した。

(教育次長)

L I N Eを活用した栃木県教育委員会の相談事業は、令和4年度から中学生までを対象に拡大した。市のタブレットは毎週持ち帰るわけではなく、現状では自分か保護者のスマートフォン等でL I N Eを使用できる生徒である等、利用できる対象者が限られている。本市としてはこの県の取り組みを周知するとともに、利用できる日や時間の拡大について県に要望をしていくと述べた。

(伊矢野委員)

オンライン授業の実施率は学校単位での集計か質問した。また、就学援助制度の修学旅行費について質問した。

(学校教育課長)

オンライン授業の実施率は学校単位の集計であると述べた。修学旅行に係る経費は、目的地や宿泊数により変動する。就学援助制度の修学旅行費は6万円程度であると述べた。

(中村教育長)

この件について他に質疑の有無を諮ったところ、質疑なく異議なしの発言があったので、本日の予定されていた協議事項は全て終了した旨を述べ、その他として委員に発言等を伺った。

(中村教育長)

他に発言の有無を伺ったところ、意見なしの発言があったため、本日の日程は全て終了した旨述べ、令和5年第1回鹿沼市教育委員会の閉会を宣した。